


## 楽々はがき 操作ガイド 住所録ファイルを別のパソコンで使用する

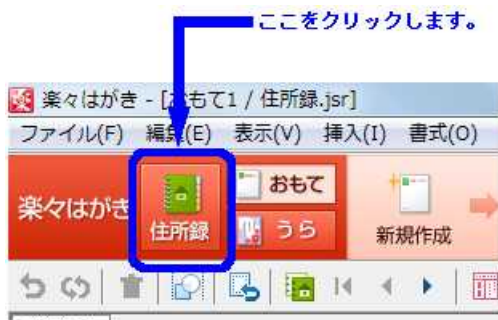
楽々はがきの住所録ファイルを別のパソコンで使用したい場合、次の操作を行います。  
ここでは、USBメモリを使用して説明します。

※USBメモリはパソコンを取り扱っている家電量販店で販売しています。

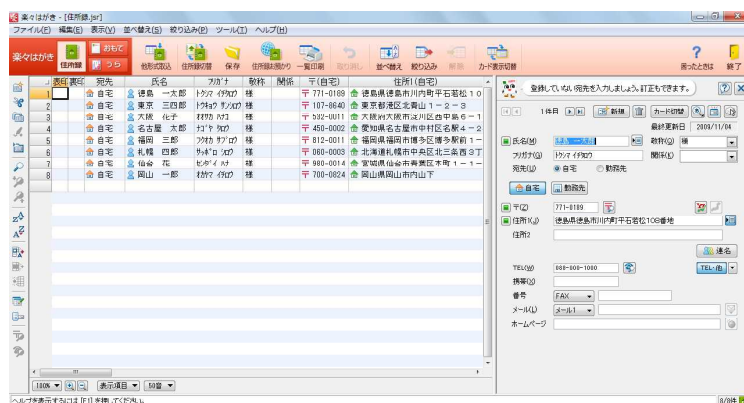
### 別のパソコンにコピーしたい住所録を開く

**1.** 楽々はがきを起動して、別のパソコンで使用したい住所録を表示します。

※住所録モードになっていない場合は、画面左上のコマンドバーの  をクリックします。



住所録モードの画面です。



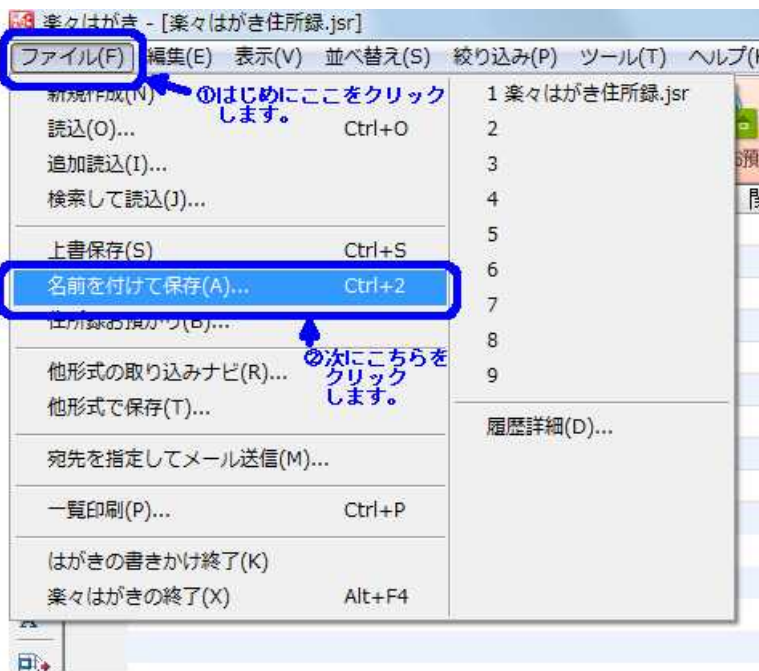
※別のパソコンにコピーしたい住所録が表示されていない場合は、[ファイル] をクリックし、右側に表示される履歴の一覧から、該当の住所録をクリックします。  
該当する住所録が見つからない場合は、P.6「こんなときは」を参照してください。

- 2.** USBメモリをパソコンにセットします。  
自動再生の画面が表示されたら、右上の [×]（閉じる）をクリックします。

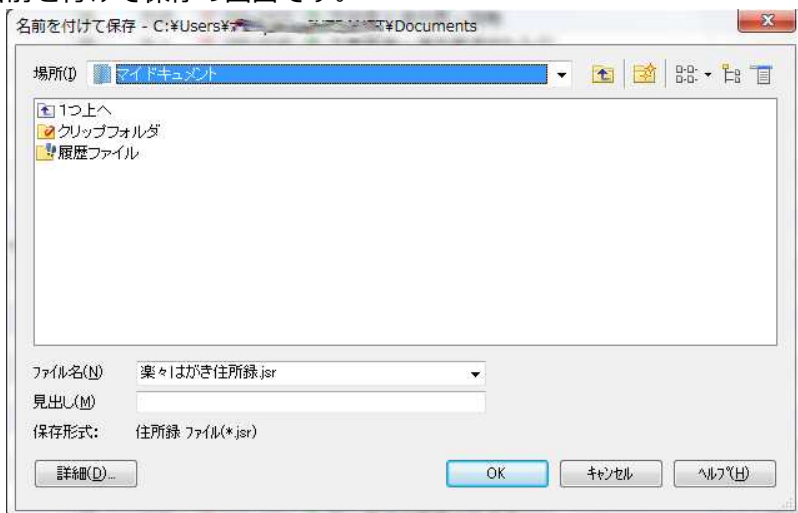


- 3.** メニューから [ファイル - 名前を付けて保存] をクリックします。

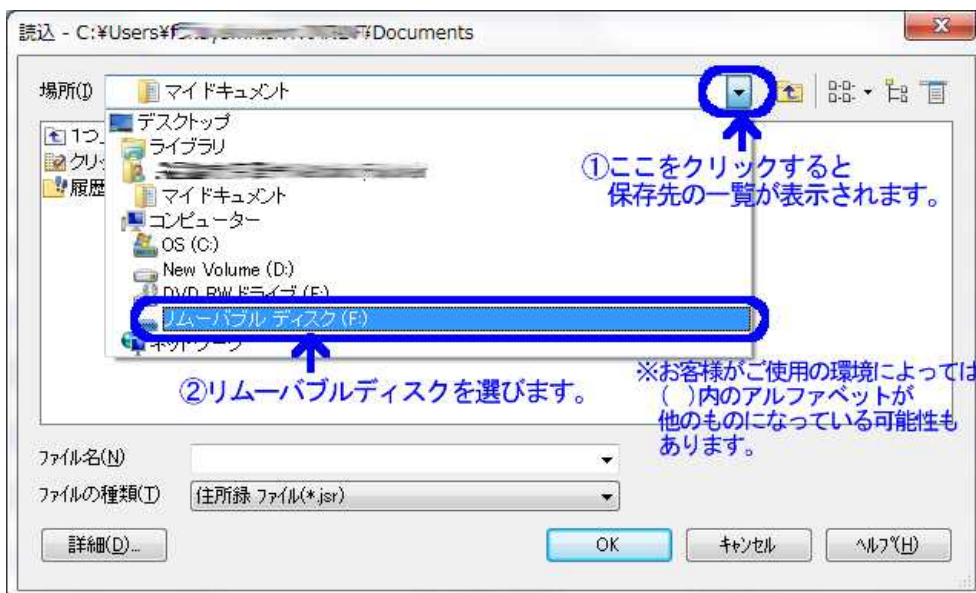
※名前を付けて保存の画面に切り替わります。



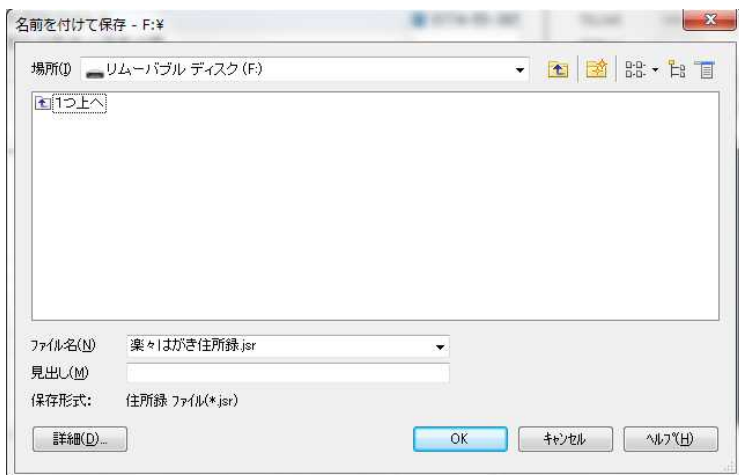
名前を付けて保存の画面です。



- 4** 場所の右側にある▼をクリックして、一覧から「リムーバブルディスク」を選びます。  
( )内のアルファベットはお客様の環境によって異なります。

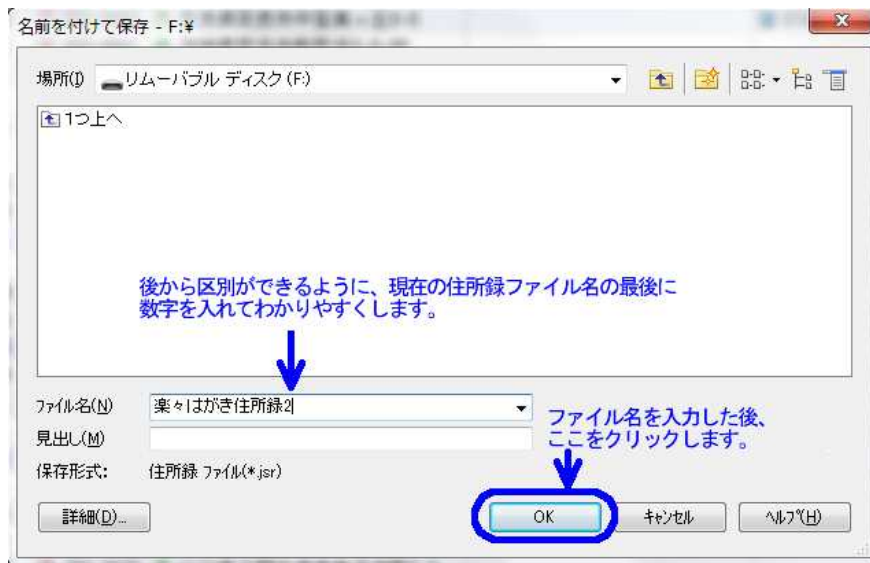


※保存場所が「リムーバブルディスク」に切り替わります。



5. ファイル名の欄には、すでにファイルの名前が表示されています。別のパソコンにコピーするファイルであることがわかるようにするために、別のファイル名に変更することをおすすめします。

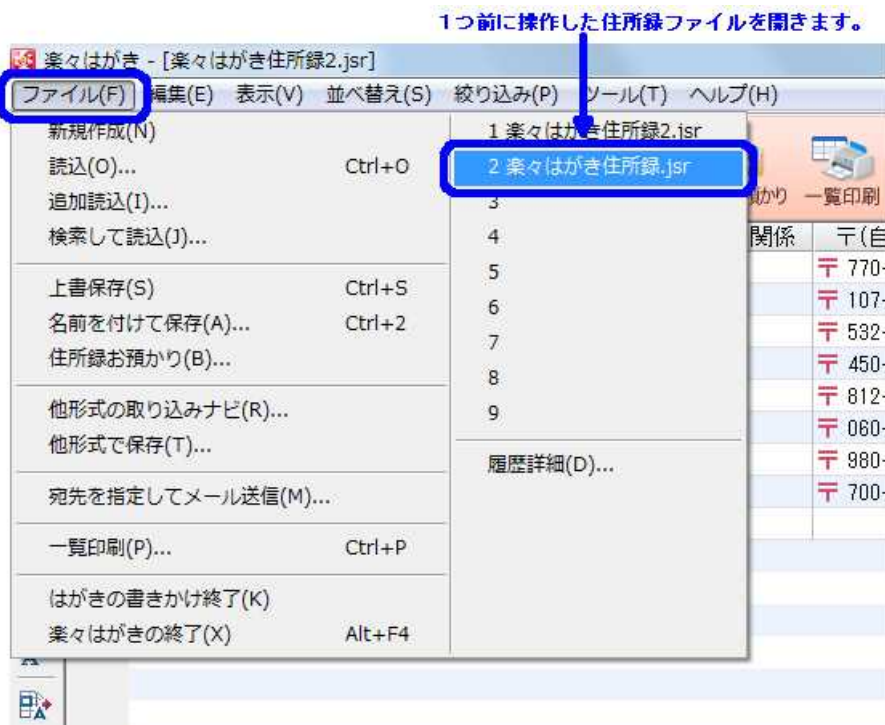
【例】現在のファイル名：楽々はがき住所録  
保存時のファイル名：楽々はがき住所録2



[OK] をクリックしたら、USBメモリへの保存が終わり楽々はがきの住所録の画面に戻ります。

このまま楽々はがきを終了すると、次回楽々はがきを起動したときに「前回編集した住所録ファイルが見つかりません。」というメッセージが表示されますので、次の操作を行ったあと、楽々はがきを終了します。

6. USBメモリに保存する前に利用していた住所録ファイルを読み込み直します。住所録の画面で [ファイル] をクリックし、1つ前の住所録ファイルを選びます。

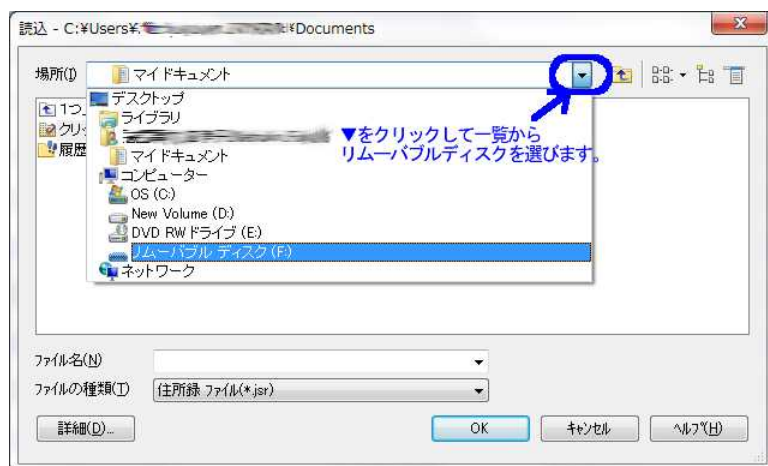


以上で、USBメモリに住所録ファイルが保存されました。

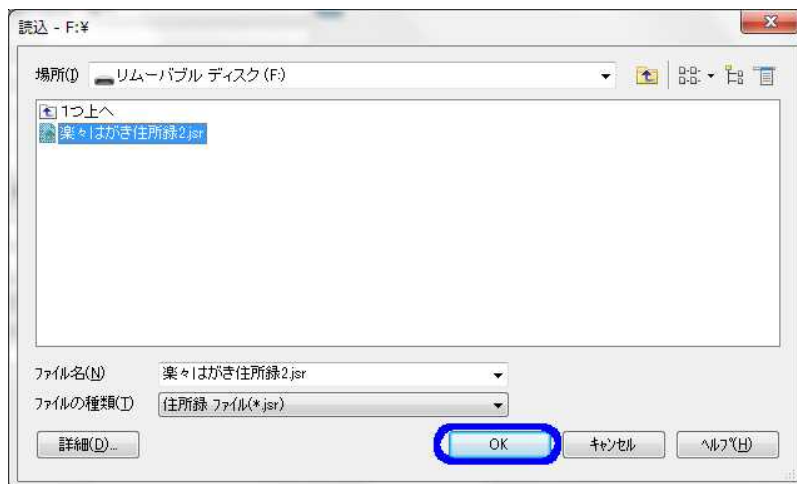
- 7.** USBメモリに保存されたかどうかを確認するためには、USBメモリをセットしたまま、以下の操作を行ってください。
- 1) Windowsの [スタート] ボタンをクリックして、 [(マイ)コンピューター] をクリックします。
  - 2) リムーバブルディスク(?) \* 1 をダブルクリックします。  
\* 1 ?には、 **4.**で確認したドライブ名が入ります。
  - 3) **5.**で入力したファイル名が表示されたら、保存が完了しています。  
表示されなかった場合は、 **1.**から **6.**の操作をもう一度行ってください。

## USBメモリにコピーした住所録を別のパソコンで開く

- 1.**別のパソコンに楽々はがきをインストールします。
- 2.**USBメモリをパソコンにセットします。  
自動再生の画面が表示されたら、右上の [×] (閉じる) をクリックします。  
P.2の **2.**を参照します。
- 3.**楽々はがきを起動して、住所録の画面を表示します。  
P.1の **1.**を参照します。
- 4.** [ファイル - 読込] で表示された画面から、リムーバブルディスクを選びます。  
P.3の **4.**を参照します。

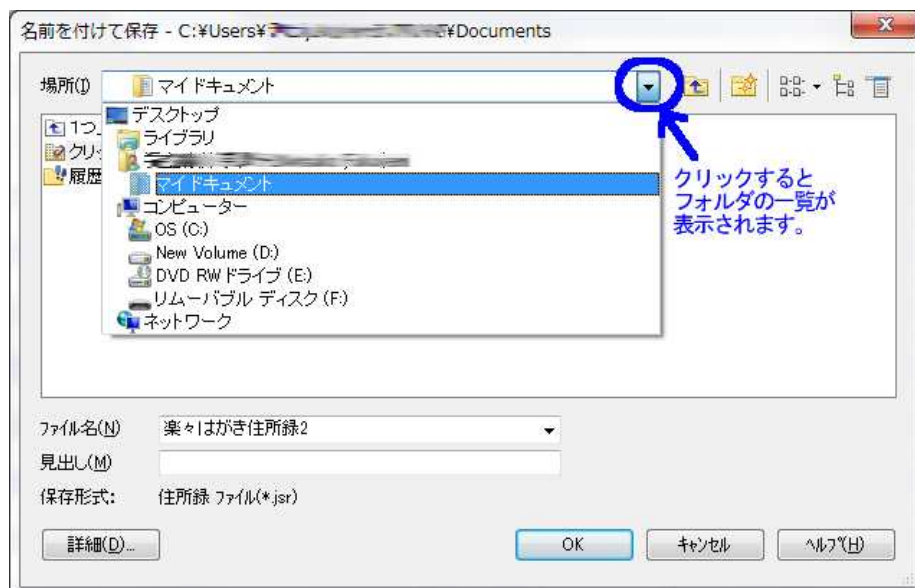


- 4.** リムーバブルディスクの一覧に表示されている「楽々はがき住所録2」を選んで、 [OK] をクリックします。



住所録ファイルが開かれるので、間違いがないか確認してください。

- 5.**開かれた住所録ファイルは、ハードディスクの任意の場所に保存します。  
[ファイル名を付けて保存] を選び、場所の右側にある▼をクリックして、任意の場所に保存します。  
特に指定の場所がない場合は、一覧からマイドキュメントやドキュメントを選択して、保存することをおすすめします。  
ファイル名はすでに入っていますので、そのまま [OK] をクリックします。




---

## こんなときは

---

住所録ファイルを保存した場所が分からない場合は、ハードディスクドライブを指定して、住所録ファイルを検索することができます

- 1.**住所録モードになっていない場合は、 をクリックして住所録モードに切り替えます。

- 2.**コマンドバーの  をクリックします。

- 3.** [住所録切替] ダイアログボックスが表示されます。

- 4.** [住所録ファイルを検索する] を選びます。

- 5.** [OK] をクリックします。  
[住所録ファイル検索] ダイアログボックスが表示されます。

- 6.** [探す場所] の右端の▼をクリックして、住所録ファイルを探す対象にしたいドライブを選びます。  
※ドライブが不明な場合は、[すべてのドライブ] を選びます。

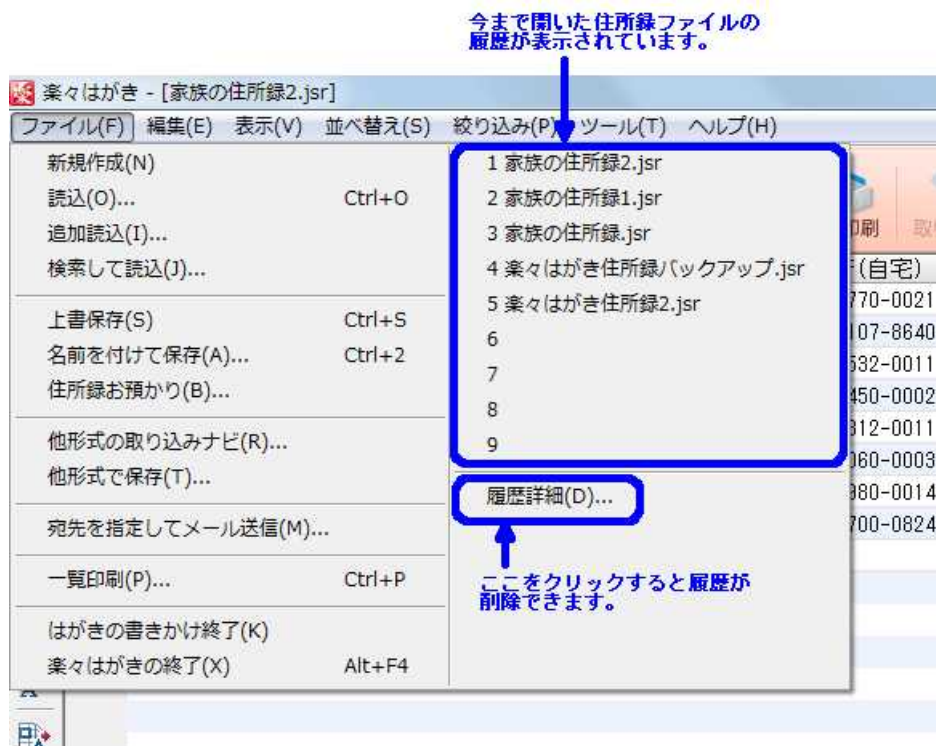
- 7.** [検索開始] をクリックします。  
検索処理が開始します。終了したら、[検索結果] に手順5.で指定したドライブに保存されている住所録ファイルの一覧が表示されます。

- 8.** [検索結果] の住所録ファイルの一覧から、使いたい住所録ファイルを選んで、[読込] をクリックします。  
選んだ住所録ファイルが読み込まれます。

## 読み込み履歴を削除する

[ファイル] をクリックして表示されるファイルの一覧は、今まで開いた住所録ファイルの履歴が表示されています。

ハードディスクドライブのどのフォルダーに保存したか分からなくなった場合も、この履歴から住所録ファイルを指定すれば、すぐに該当の住所録を開くことが可能です。



この履歴を削除したい場合は、[履歴詳細] をクリックして、該当のファイルを選び、[削除] をクリックします。全部の履歴を削除するには [全て削除] をクリックします。

### ◇注意◇

履歴の一覧から削除しても、実際の住所録ファイルは削除されません。

履歴の一覧から削除したいファイルの口の上でクリックします。レ点が入りますので、右側の[削除] をクリックします。

